できる・できる・できる

令和６年３月１５日
No. 66（第 194 号）
長崎市立戸町中学校
文責　校 長　大　橋　　功
https://www.nagasaki-city.ed.jp/tomachi-j/

校訓：「自主・友愛・飛躍」

新しい道へ歩む先輩方へ

「送辞」　田尻 紗彩 さん

数多くの行事の中で常に私たちの先頭に立ち、戸町中学校を引っ張る姿が思い起こされます。特に、体育大会では先輩方が披露した迫力いっぱいのソーラン節。また、学年種目「天下分け目の関ヶ原」での先輩方の様子も印象的でした。ふだんは優しく温厚な先輩方がここぞとばかりにタイヤやボールめがけて走り、他のクラスと鬼の形相で戦っていた姿に衝撃を受けたことを今でも覚えています。これから、皆さんが歩んでいく道は、決して楽しいことばかりではないと思います。ときには壁にぶつかり、悩み、苦しむこともあるかもしれません。それでも、「正解」の歌詞のように、自分だけの正解を見つけるため、それぞれの道を歩んでいってほしいと思います。

卒業生の皆さん、この戸町中学校で過ごした青春の一ページを人生というアルバムにしまい、これから新たな未来へと旅立ってください。皆さんのご健康と今後益々のご活躍を祈っています。

ありがとうの思いを込めて

「答辞」　奥村 彩乃 さん

在校生の皆さん、頼りない一面もあったと思いますが、ここまでついてきてくれてありがとう。これからはみなさんが戸町中を引っ張っていく番です。よりよい戸町中を目指し、みんなで力を合わせて頑張ってください。

この三年間、いろんなことを経験しました。嬉しいこと、楽しいこと、辛いこと、そこにはいつも仲間がいました。毎日くだらないことで笑い合ったり、時には喧嘩したり、そんな仲間たちとの何気ない生活が大好きでした。

こらからはそれぞれの道を進み、未来へ歩んでいきます。「きっとこれからも辛いことはある。だからこそ、この仲間を思い出して前へ進んでいきたい。きっと大丈夫、一人じゃない。」そう考えるだけで、何でもできる気がします。みんなと過ごしたことすべてが私の宝物です。本当に出会えてよかった。

数えきれないぐらいの思い出ができ、とても幸せな三年間でした。これからも自分らしさを大切にして笑顔を忘れず、自分の決めた道を、前を向いて進み続けていきます。

心の種

今回のテーマは「巣立ち」です。

蕾を見ては憂い　花を見ては和み
　花びらを散らしては　心地よいそよ風を感じた
桜の木のごとく
　大地にしっかりと根を張り　たくましく育て

（作：大橋）

まぶたを閉じると、見えてくる友の笑顔。耳を澄ますと、聞こえてくる友の声。諦めそうになったとき、頼もしかった友の支え。苦しいとき辛いとき、同じ空を見上げてみよう。もう一度、力強く踏ん張ってみよう。懐かしくて、心温まる友を思い出してみよう。きっと、心の中に心地よい風が吹いてくるはず。

昨日の卒業式では、９１名の子どもたちが無事に巣立っていきました。何度も涙をこらえる場面がありました。教師としてどんな立場であれ、教え子たちとの別れは寂しいものです。また、巣立っていく教え子たちの姿がとてもまぶしく、誇らしく見えました。

～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～

あの感動をもう一度！ ～ 卒業式 ～

昨日挙行されました第７７回卒業証書授与式では、保護者や地域の方々をはじめ、多くの祝電により、卒業生の門出を祝って頂きました。心より感謝いたします。本当にありがとうございました。

最後の学活終了後、在校生と職員全員で卒業生を見送りました。卒業生たちは、それぞれ照れ笑いしながらも、いよいよ最後なのだという感極まる表情もあり、互いに別れを惜しみました。

その時の様子をもう一度、写真でお届けしたいと思います。

笑顔が素敵な９１名の教え子たちは、それぞれの新天地（進路）へと巣立っていきました。